

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校国語】

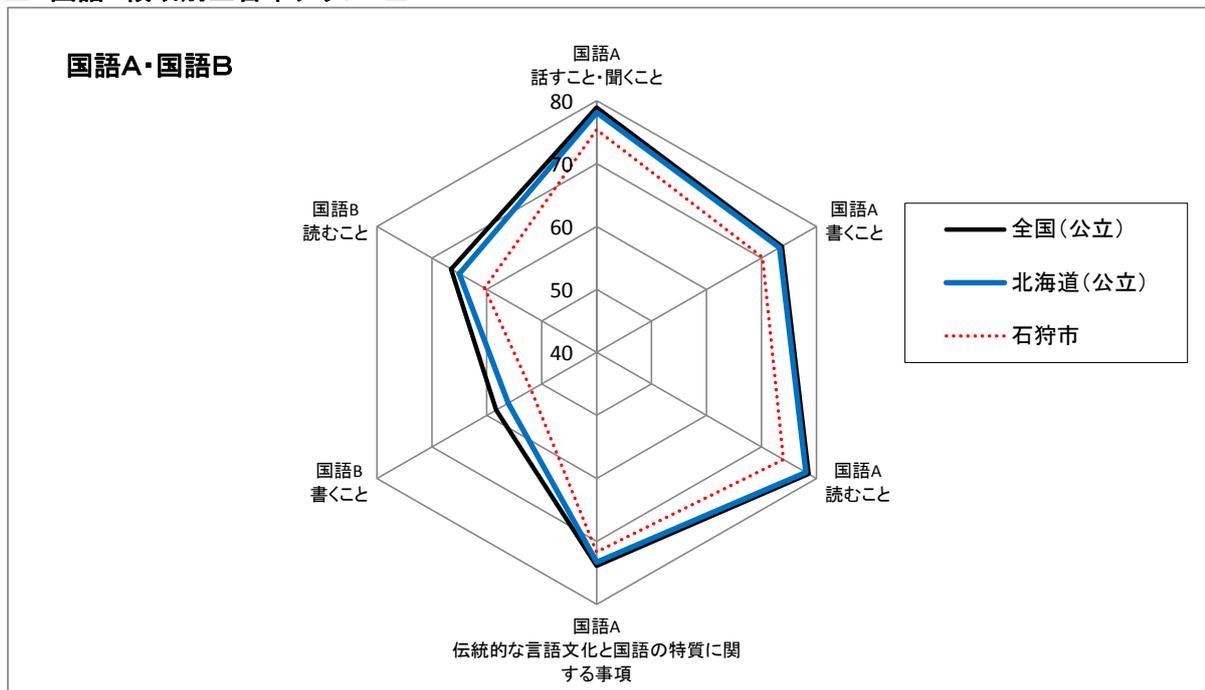
□ 正答率の状況 □

	国語A(主として「知識」に関する問題)		国語B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	25.0問/33問	75.6%	6.0問/9問	66.5%
全道(公立)	24.8問/33問	75.1%	5.8問/9問	65.0%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	
	石狩市 ; ○ 全国 ; ☆					☆	○												

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 国語 領域別正答率グラフ □



□ 国語科の概要 □

- ◇ 国語Aは全道平均とほぼ同様(下位)で、全国平均よりやや低い結果となりましたが、昨年度より差が縮まりました。
- ◇ 国語Bについては全道平均よりやや低く、全国平均よりも低い結果となりましたが、昨年度より差が縮まりました。
- ◇ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の中で、国語Aでは「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全道とほぼ同様(下位)で全国との差が縮まりました。
- ◇ 国語Bでは「書くこと」「読むこと」の領域で全道よりやや低い結果となりました。
- ◇ 問題形式の正答率では、国語Aで選択式・短答式が全道とほぼ同様(下位)、全国とは選択式がほぼ同様(下位)の結果となりました。
- ◇ 国語Bは選択式・短答式・記述式で全道・全国よりやや低い、又は低い結果となりました。

国語 A (主として「知識」に関する問題)

基礎的・基本的な知識・技術が身に付いているかどうかをみる、以下の内容の問題で構成されています。

- ・絵本のページを提示した意図として適切なものを選択する。
- ・パンフレットの見出しを他の見出しの書き方を参考にして書く。
- ・奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する。
- ・「忘れがたき」の意味として適切なものを選択する。
- ・設問数は33問です。

【各領域の傾向】

- ・「話すこと・聞くこと」の領域は全道とほぼ同様（下位）で、全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関しては、全道・全国とほぼ同様（下位）な傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
7二	話し合いを踏まえた発言として適切なものを選択する	互いの発言を検討して自分の考えを広げる	話すこと 聞くこと	60.6%	60.9%	62.0%
2二	文章の一部を別の項目に移す理由として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する	書くこと	72.5%	73.8%	73.2%
3二	「私」にとってのライスカレーを説明したものとして適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する	読むこと	86.3%	89.1%	90.0%
9一1	漢字を書く（大学で歴史のケンキュウをする）	文脈に即して漢字を正しく書く	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	85.3%	82.8%	83.5%
9四ア	漢和辞典の「意味」の中から、「賛美」の「美」の意味として適切なものを選択する	辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える		62.9%	62.7%	60.3%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
7一	相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして適切なものを選択する	話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する	話すこと 聞くこと	65.5%	71.5%	70.6%
4二	質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く	書くこと	71.9%	77.2%	78.7%
8一	奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する	奥付の特徴や役割を理解する	読むこと	79.1%	86.0%	86.1%
9一2	漢字を書く（今までにないドクソウ的な考えだ）	文脈に即して漢字を正しく書く	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	20.0%	25.2%	26.1%
9三ウ	適切な語句を選択する（弟子を手塩にかけて育てる）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う		55.0%	58.3%	59.3%

〈指導の改善にあたって〉

【話すこと・聞くこと】

相手の意見を聞く際には、主張や根拠などに注意して聞き、要点を捉える必要があります。そのためには、相手の主張や根拠をノートにメモしながら聞き、聞きとった内容が適切かどうかを相手に確認した上で自分の考えを比較するなどの学習活動を進めることが考えられます。

【書くこと】

読み手に対して、根拠が明確になるように工夫して書く必要があります。そのためには根拠を示した事実が適切であるか確かめた上で、接続語の使用や段落構成の工夫などによって、読み手に対してどの部分が根拠であるかが分かるような表現上の工夫をするよう指導することが大切です。

【読むこと】

本から必要な情報を得る際には、「目次」「索引」「奥付」等の特徴や役割を理解し、目的に応じて活用できるようにすることが大切なことから、例えば、本の発行年に着目しなければならない課題を設定し、奥付を活用しながら適切な情報を収集するなどの指導が必要です。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

漢字を書くことの指導については漢字を日常的に使用するとともに、漢字の部首や意味について確認することが大切なことから、国語の学習とともに、各教科等における学習の中で漢字を適切に使用するよう指導が大切です。また、教師が意識的に慣用句やことわざを用いて話したり、掲示物や配布物に取り入れたりするなど、言語環境を整えることも効果的です。

国語 B (主として「活用」に関する問題)

基礎的・基本的な知識・技術を活用できるかどうかをみる、以下に示す内容の問題で構成されています。

- ・ ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く。
- ・ 宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を書く。
- ・ 図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分とどのようなことが分かったかを書く。
- ・ 設問数は9問です。

【各領域の傾向】

- ・ 「書くこと」「読むこと」の領域はいずれも全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1三	ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く	文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く	書くこと 読むこと	65.1%	65.7%	68.0%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1一	ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える	読むこと	68.9%	75.4%	76.2%
3三	図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く	本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く	書くこと 読むこと	44.5%	52.5%	57.7%

〈指導の改善にあたって〉

【読むこと】

ちらしやポスターなど実用的な文章を読み、内容を的確に捉えるためには、目的に応じて中心的な部分と付加的な部分とを読み分けたり、実際に身の回りにあるちらしを比較しながら読み、話し合うなどの学習活動が考えられます。

【書くこと】

適切な情報収集の方法を身に付けさせるとともに、資料から得た情報を踏まえることで、想像が広がったり理解が深まったりした内容について、根拠を明確にして話し合うような指導が必要です。

教科に関する意識（質問紙の傾向）

- ・「国語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の 62.4%、全国の 59.8%に対して石狩市は66.5%で、全道に比べ 4.1ポイント、全国に比べて6.7ポイント高くなっています。
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の88.9%、全国の89.1%に対して石狩市は92.1%で、全道に比べ3.2ポイント、全国に比べ3.0ポイント高くなっています。
- ・「国語の授業内容はよく分かりますか」に対する肯定的な回答は、全道の75.6%、全国の74.1% に対して石狩市は77.5%と、全道に比べ1.9ポイント、全国に比べ3.4ポイント高くなっています。
- ・「読書は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の73.5%、全国の69.9% に対して石狩市は73.5%で、全道と同様で、全国に比べ3.6ポイント高くなっています。
- ・国語の授業中の質問に関して、「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしていますか」の肯定的な回答が全国よりもやや低い他は、「意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか」「自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか」「文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか」の各設問での肯定的な回答率は、いずれも、全道・全国とほぼ同様となっています。

平成28年度 全国学力学習状況調査 結果分析

【中学校数学】

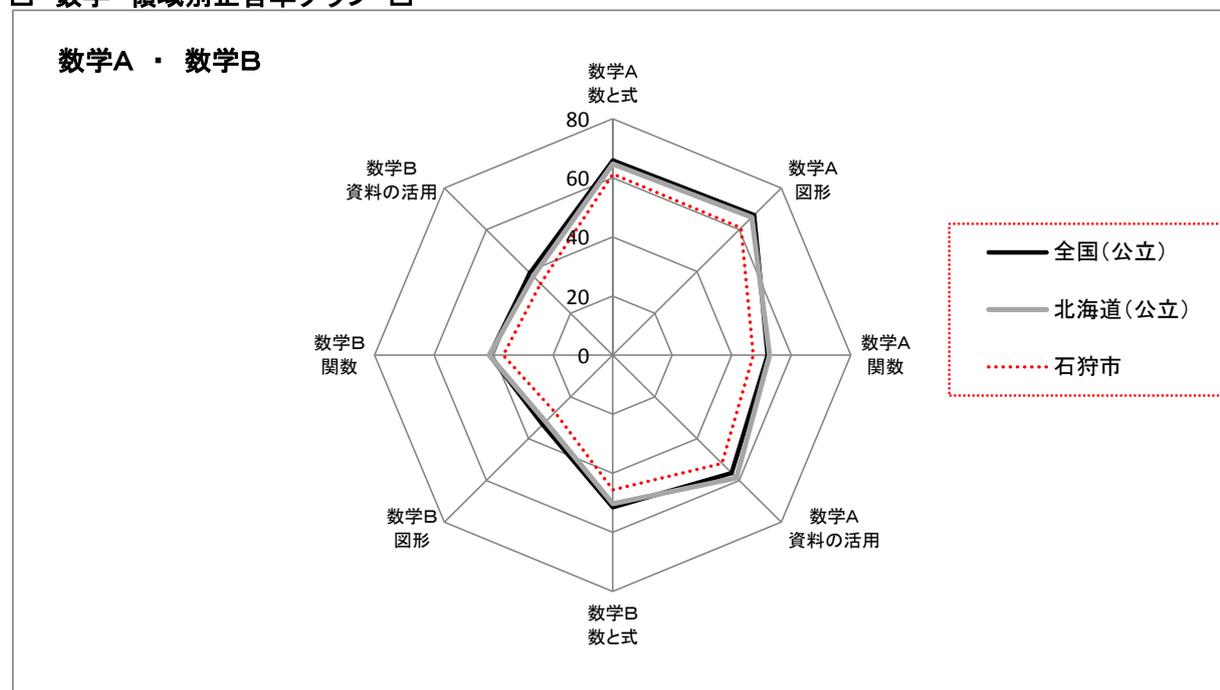
□ 正答率の状況 □

	数学A(主として「知識」に関する問題)		数学B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	22.4問/36問	62.2%	6.6問/15問	44.1%
全道(公立)	22.2問/36問	61.8%	6.5問/15問	43.3%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
	石狩市 : ○ 全国 : ☆					☆		○							☆		○	

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 数学 領域別正答率グラフ □



□ 数学科の概要 □

- ◇ 数学Aの平均正答率は、全道平均よりやや低く、全国平均よりも低い結果となりましたが、昨年度より差が縮まりました。
- ◇ 数学Bの平均正答率は、全道平均よりやや低く、全国平均よりも低い結果となりましたが、昨年度より差が縮まりました。
- ◇ 「数と式」「図形」「関数」「資料活用」領域の中で、数学Aで「数と式」が全道・全国平均よりやや低い結果となりました。
- ◇ 数学Bではすべての領域で全道・全国平均よりやや低い、若しくは低い結果となりました。
- ◇ 問題形式の正答率では、数学Aで選択式・短答式が全道平均よりやや低く、全国平均より低い結果となりました。
- ◇ 数学Bの選択式での正答率は、全道・全国平均とほぼ同様(下位)の結果となりました。

数学 A (主として「知識」に関する問題)

- 基礎的・基本的な知識・技能が身につけているかどうかをみる、次に示す問題で構成されています。
- ・正の数と負の数とその計算, 文字式の計算をする。一元一次方程式を解く。
 - ・対称移動した図形をかく。多角形の外角の和について正しい記述を選ぶ。
 - ・反比例のグラフから式を求める。一次関数の表からグラフを選ぶ。
 - ・与えられた資料の最頻値を求める。確率について, 正しい記述を選ぶ。
 - ・設問数は36問です。

【各領域の傾向】

- ・「数と式」の領域は, 全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「図形」の領域は, 全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・「関数」の領域は, 全道より低く・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「資料の活用」の領域は, 全道より低く・全国よりやや低い傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
3 (3)	縦と横の長さの比が5:8の長方形の看板について, 縦の長さが45cmのときの横の長さ x cmを決めるための比例式をつくる	具体的な場面における数量の関係を捉え, 比例式をつくることができる	数と式	56.1%	54.1%	52.3%
7 (3)	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	命題の逆を理解している	図形	70.4%	72.0%	72.3%
9 (2)	比例 $y = 2x$ について, x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める	比例の式について, x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる	関数	40.9%	45.2%	39.4%
13 (1)	1枚の硬貨を投げたときの確率について, 正しい記述を選ぶ	「同様に確からしい」ことの意味や, 前の試行が次の試行に影響しないことを理解している	資料の活用	64.4%	66.8%	66.0%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (2)	-5, 0, 1, 2.5, 4の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解している	数と式	30.5%	40.1%	40.6%
5 (4)	円柱の体積が 600 cm^3 のとき, その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める	円錐の体積は, それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の $1/3$ であることを理解している	図形	39.4%	45.3%	49.9%
9 (4)	反比例のグラフから式を求める	反比例のグラフ上の点の座標から, x と y の関係を式で表すことができる	関数	25.6%	33.2%	34.5%
12 (1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から, 読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる	資料の活用	33.5%	44.3%	45.5%

【無解答率の高い設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市		全道		全国	
				正答率	無解答率	正答率	無解答率	正答率	無解答率
10(2)	一次関数の式から変化の割合を求める	一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合が一定で a の値に等しいことを理解している	関数	50.3%	29.4%	60.3%	19.2%	54.6%	22.3%

〈指導の改善にあたって〉

<p>【数と式】 正の数と負の数の範囲で数の集合を捉え直す場面を設定し、数についての理解を深め、自然数や整数の意味を理解できるように指導することが大切です。その際、0は整数に含まれるが、自然数には含まれないことを確認する必要があります。</p> <p>【図形】 命題とその命題の逆について理解させるためには、仮定と結論を区別し、それらを入れかえ、もとの命題の逆を作る場面を設定し、理解できるように指導することが大切です。</p> <p>【関数】 反比例は x と y の値の積が常に一定の値 a になることを調べ、$y = a/x$ という式で表せることを確認するとともに、反比例のグラフは x 軸と y 軸に限りなく近づくが交わらない特徴があることを確認する指導が必要です。</p> <p>【資料の活用】 目的に応じてデータを収集して整理し、資料の傾向を読み取る活動を取り入れ、資料の代表値を求めることができるように指導することが大切です。その際、読んだ本の冊数の最頻値とは、何冊読んだ人が一番多いのかを表すものであり、その人数でないことを確認する場面を設定することが大切です。</p>
--

数学 B (主として「活用」に関する問題)

<p>基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる、次に示す問題で構成されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前提となる条件を判断し、それが適している理由を表の数字を基にして説明する。 2種類の自動車を使用する際の総費用が等しくなる使用年数を求める方法について、式またはグラフを用いて説明する。 付加された条件の下で、見いだした事柄について数学的な表現を用いて説明する。 グラフの形や代表値に着目して、平均値を用いて判断することが適切でないことを説明する。 設問数は15問です。
--

【各領域の傾向】

- 「数と式」の領域は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- 「図形」の領域は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- 「関数」の領域は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- 「資料の活用」の領域は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- 無解答率が高い設問の多くは記述式問題形式で、全道・全国と同じ様な傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2(1)	一次関数の表から $x=4$ のときの y の値を求める	条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることができる	関数	57.2%	64.0%	59.1%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2 (2)	$x=4$ のとき $y=9$ になるように、 x と y の間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する	加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる	関数	13.2%	19.1%	20.6%
4 (2)	$DA:DC=1:2$ のときの $\triangle DEC$ がどのような三角形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる	図形	30.0%	34.5%	37.3%

【無解答率の高い設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市		全道		全国	
				正答率	無解答率	正答率	無解答率	正答率	無解答率
6 (2)	文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する	与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる	数と式	14.9%	50.8%	14.8%	44.7%	15.4%	41.5%

〈指導の改善にあたって〉

【関数】

表から変化や対応の特徴を捉え、対応する値を求める活動を取り入れ、 x の値に対する y の値を求める学習活動に取り組む必要があります。

【図形】

付加された条件の下で、見いだした事柄を数学的に表現できるようにするためには、見いだした事柄の前提に当たる条件と、それによって説明される結論を明確にして表現する活動を取り入れる指導をすることが大切です。

教科に関する意識 (質問紙の傾向)

- ・「数学の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の52.9%、全国の56.0%に対して石狩市は、52.4%で全道より0.5ポイント、全国より3.6ポイント低くなっています。
- ・「数学の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の78.8%、全国の80.5%に対して石狩市は77.4%で、全道より1.4ポイント、全国より3.1ポイント低くなっています。
- ・「数学の授業内容はよく分かりますか」に対する肯定的な回答は、全道の67.6%、全国の69.4%に対して石狩市は64.2%と、全道より3.4ポイント、全国より5.2ポイント低くなっています。
- ・「数学ができるようになりたいと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の91.0%、全国の91.3%に対して石狩市は89.0%で、全道より2.0ポイント、全国より2.3ポイント低くなっています。
- ・「問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の肯定的な回答は、全道・全国よりやや下回っています。また、「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」の肯定的な回答は全道よりやや高く、全国よりはやや低い結果となりました。